

固定資産台帳の資産状況について (令和4年度末)

固定資産台帳は、総務省「統一的な基準による地方公会計マニュアル（資産評価及び固定資産台帳整備の手引き）」に基づき財務書類を作成するにあたり、市の資産状況の明確化及び他団体との比較可能性を確保するために必要な情報を備えた補助簿として整備しています。

この台帳は、市が所有する固定資産について、取得から除売却処分に至るまでの経緯を個々の資産ごとに管理するための帳簿であり、従来の公有財産台帳の情報に加え、耐用年数、減価償却した価額等の情報を網羅しています。

対象となる資産は、一般会計等（一般会計及び学校給食センター事業特別会計、土地取得造成事業特別会計、揖龍公平委員会事業特別会計、病院事業債管理事業特別会計）に係るものです。

現在の固定資産台帳の状況は、下記のとおりです。

(単位：百万円)

区分	勘定科目	件数	取得価額	減価償却 累計額	期末簿価	老朽化 比率
有形 固定資産	事業用資産	6,951	105,831	43,378	62,453	
	土地	5,461	35,846		35,846	
	建物 a	711	64,526	39,863	24,663	
	工作物 b	779	5,459	3,515	1,944	
	建設仮勘定				0	
	インフラ資産	42,992	168,786	107,018	61,768	
	土地	36,218	15,360		15,360	
	建物 c	76	260	194	66	
	工作物 d	6,698	153,166	106,824	46,342	
	建設仮勘定				0	
	物品 e	1,205	3,030	2,439	591	
	計	51,148	277,647	152,835	124,812	
無形 固定資産	ソフトウェア f	8	-	-	-	
	その他 g	0	-	-	-	
	計	8	-	-	-	
全資産 合計		51,156	277,647	152,835	124,812	
うち償却資産 a～g		9,477	226,441	152,835	73,606	67.5%

※単位未満の四捨五入により金額が0円となる場合は、“-”と表示しています。

期末簿価の構成割合

